

ウイルスセキュリティZERO_1

[ご注意]

- ・本手順書と2013年に作成したものです。画面やメニュー名称が異なる場合はセキュリティソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ・Windows8.1に対応しているのはファイナルパソコン引越し11plus以降です。

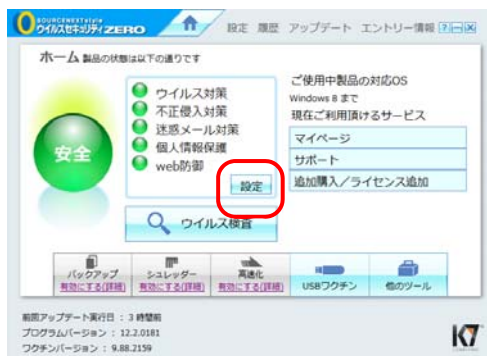


手順1.ウイルスセキュリティZEROの除外設定にファイナルパソコン引越しの関連フォルダを追加登録します。

- ① [スタート]→[すべてのプログラム]→[ウイルスセキュリティ]→[ウイルスセキュリティ] を順にクリックします。
Windows 8以降の場合はデスクトップを表示させウイルスセキュリティZEROのアイコンをダブルクリックします。

- ④ [ウイルス自動検知]項目で、[検査したくないファイル、フォルダを指定する] をクリックします。

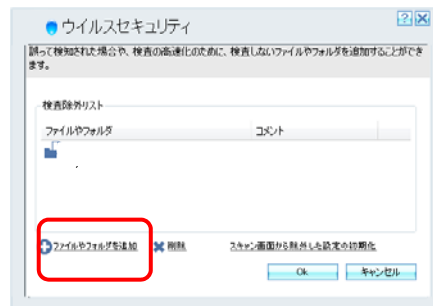
- ② ホーム画面より、[(設定)] をクリックします。



- ③ [ウイルス・スパイウェア対策]項目で、[設定] をクリックします。



- ⑤ [+ファイルやフォルダを追加] をクリックし、「項目の追加」画面を表示させます。



⑥[フォルダを追加する] をクリックしファイナルパソコン引越しのプログラム フォルダーを指定します。既定の設定では、次のフォルダーにあります。

■ 32bitOSの場合:

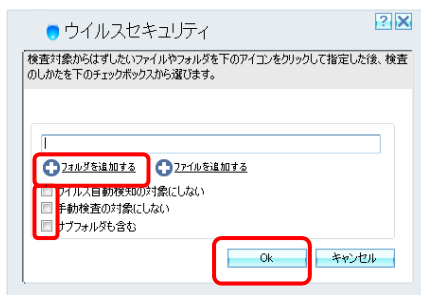
C:\¥Program Files¥AOS Technologies

■ 64bitOSの場合:

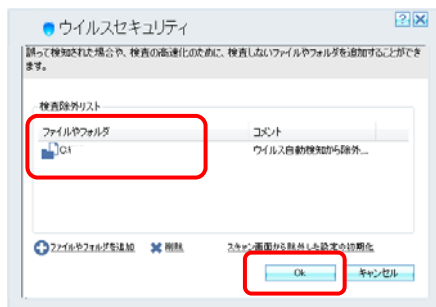
C:\¥Program Files (x86)¥AOS Technologies

以下項目を全て**チェックオン**にし、[OK]をクリックします。

- ・ウイルス自動検知の対象にしない
- ・手動検査の対象にしない
- ・サブフォルダも含む



⑦追加したフォルダのパスが表示されていることを確認し[OK]ボタンをクリックします。



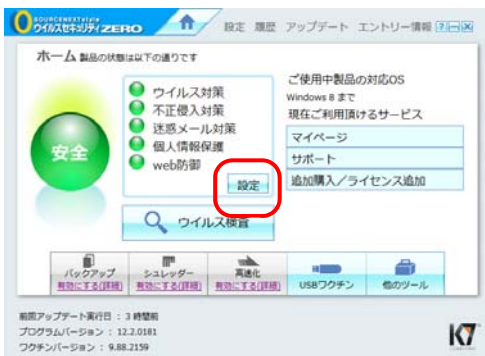


手順2.ウイルスセキュリティZEROを一旦停止します。

① コンピュータ上で起動しているすべてのアプリケーションを終了します。ウイルスセキュリティZEROのメイン画面を起動中 の場合は、メイン画面を閉じます。

② [スタート]→[すべてのプログラム]→[ウイルスセキュリティ]→[ウイルスセキュリティ] を順にクリックします。

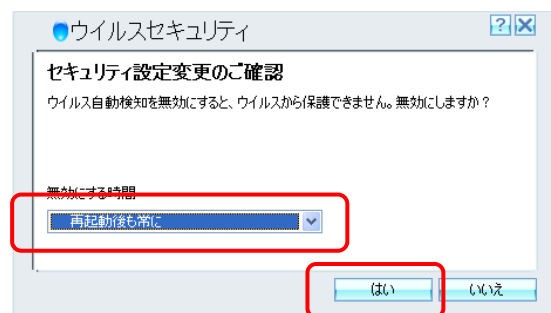
③ ホーム画面より、[(設定) をクリックします。



④ [ウイルス・スパイウェア対策]の各項目で [無効]をクリックします。



⑤ [無効にする時間]は[パソコンを再起動後も常に]を選択し、[はい]をクリックします。項目ごとに[無効]設定をします。[ウイルス・スパイウェア対策]画面に戻りますので全項目が[無効]に設定変更されたことを確認します。



⑥ [ウイルス・スパイウェア対策]画面で全項目が [無効]に設定変更されたことを確認します。